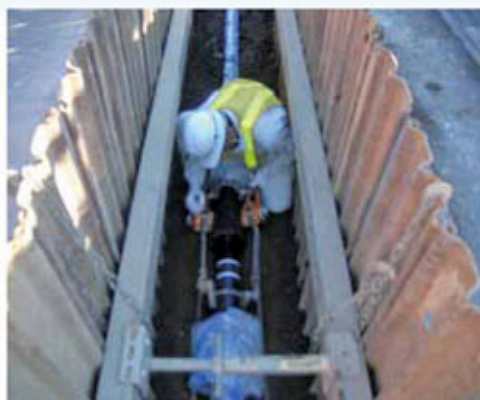


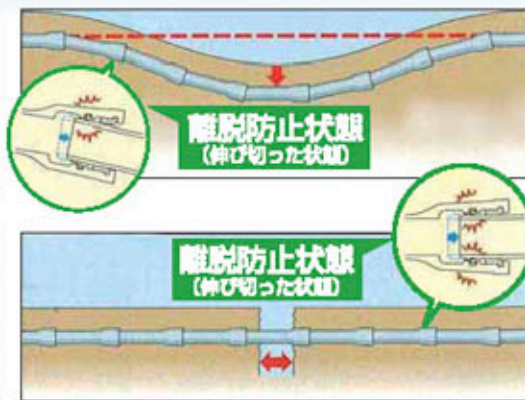
災害に強い施設づくり

防災の日特集～災害に備えて～

- 水道局では、浄水場や給水場の耐震化を進めており、現在約95%が耐震化されております。
- 道路に埋設されている水道管については、平成18年度より全面的に耐震管を採用し、耐震化を進めています。
- 災害時に停電が起きた場合の対応として、浄水場、給水場及び水道事務所に自家発電設備を整備しました。



▲水道管の取り替え工事



▲耐震管の一例

←地盤沈下時のイメージ

耐震管のしくみ

地震の際、水道管の継ぎ目は抜けやすいので、抜け防止付きの耐震継ぎ手を採用しています。

←地割れ発生時のイメージ

【問合せ先】 千葉県水道局計画課危機管理対策室 TEL 043-211-8636

—水道水の放射性物質に関する—

Q & A

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、水道水の安全性などについてお客様からお問い合わせの多い内容をQ&Aにして掲載しました。

Q1 水道水の放射性物質は監視しているのですか？

A 当局では、すべての浄水場の放射性物質の測定を定期的に行っており、その結果についてはホームページ等でお知らせしています。

Q2 測定結果で、「不検出」とは何ですか？

A 水道水中の放射性物質を測定した結果、測定できる最小値(おおむね5~10ベクレル/kg)未満を現在「不検出」としています。この結果は、乳児による水道水の摂取を控える値(放射性ヨウ素100ベクレル/kg)と比較しても十分に安心していただけるものです。

(参考)厚生労働省では以下の指標値を超えた時は水道水の飲用を控えることとしています。

(放射性ヨウ素300ベクレル/kg(乳児は100ベクレル/kg)
放射性セシウム200ベクレル/kg)

Q3 浄水場で発生した汚泥から放射性物質が検出されたと聞きますが、水道水は安全ですか？

A 汚泥から検出された放射性物質は、原水中に含まれている放射性物質が浄水処理する過程(沈でん・ろ過など)で砂や泥などと一緒に取り除かれたものです。水道水は、定期的に放射性物質を測定し安全であることを確認しています。

水道水は、安全でおいしいよ!

千葉県水道局のホームページでは逐次最新の測定結果を掲載しています。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/suldou/index.html>

【問合せ先】 千葉県水道局浄水課 TEL 043-211-8673, 8685

水道局での節電対策

東日本大震災による電力供給力の大幅な減少に伴い、政府は、大規模停電を回避するため、東京電力(株)管内において7月1日~9月22日(平日)の9時~20時の間、大口需要者に対して最大15%の電力使用制限を発動しました。

当局はライフライン確保の観点から制限緩和を受けて、制限率5%の電力使用制限とされていますが、浄水場や給水場の設備運転には多くの電力を使用するので、この電力抑制を着実に実施するため、様々な取組を行い、節電対策を図っています。



◆太陽光発電パネル (ちは野瀬の浄水場)

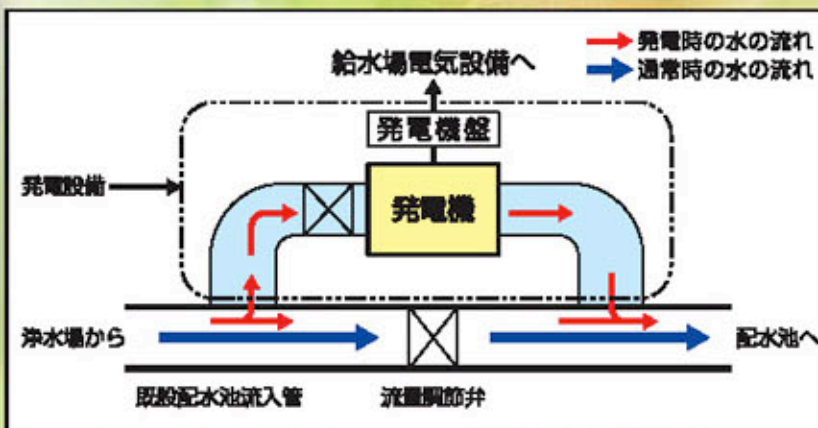
《制限時の取組》

- (1)最大需要電力の監視を徹底
- (2)照明、空調設備等の管理を徹底
- (3)多くの電力を使用する浄水処理をなるべく制限時間外に実施
- (4)高架水槽の効率的な運用による電力消費の抑制
- (5)マイクロ水力発電設備*の効率的な運用等

*マイクロ水力発電設備

浄水場から給水場への送水の際に生じる余剰水圧を利用して発電する設備。現在、常盤給水場と妙典給水場で稼働しています。

◆マイクロ水力発電の仕組み



なお、これらの取組にもかかわらず、使用電力制限値を超過する恐れがある場合には、配水圧力を通常の3~7%減する対策をとりますので、一部地域では水の出が悪くなる場合がありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【問合せ先】 千葉県水道局浄水課 TEL 043-211-8685